

本時のねらい

100より大きい数を、落ちや重なりがなく正確に数えられるよう工夫して数え、3位数を読んだり書いたりすることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートスクールの書き込み機能を活用し、ビー玉を10や100のまとまりにしたり印をつけたりして、工夫して数える。
- ・回答共有機能を用いて、友だちがどのような工夫をして数えたのかを知る。

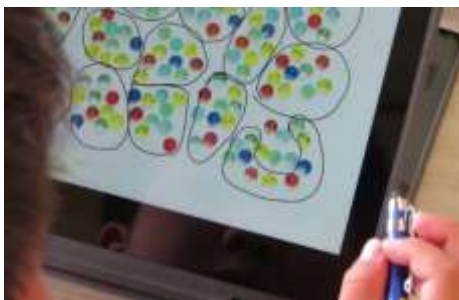
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートスクール
- ・スクリーン
- ・プロジェクター

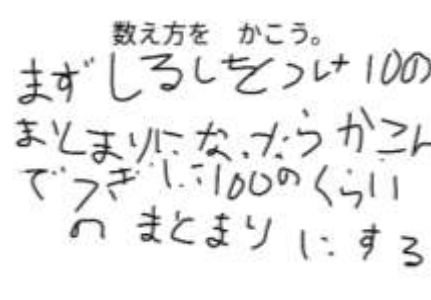
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ビー玉の実物を見て、課題への関心を高める。 ○課題を把握する。 □(めあて) ビー玉の数え方を考えよう。 ○いくつくらいあるか、見当をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提示されたビー玉の写真を見て、ビー玉の数が100より多いことや、1つつ数えるのが大変だということに気づかせる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・10このまとまりで考える。 ・10を10こ集めて、100のまとまりで考える。 ・数えたものに印をつける。 ○ロイロノートスクールを活用し、ビー玉の数を数える。 <ul style="list-style-type: none"> ・写真に書き込み、数を数える。 ・数えるための工夫も写真に書き込む。【写真1】 ・数え方の工夫を、別シートに文章で表す。【写真2】 ・ビー玉の数を記入し、教師へ提出する。 ○友だちの考えを見て、正しく数えるための工夫を見つける。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりや100のまとまりを表す際に色や太さを変えて、相手に伝わりやすくするよう配慮する。 ・回答を共有し、友だちの考えを見る時間を設けることで、様々な数え方の工夫を見つけられるようにする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめをノートに記入する。 □(まとめ) ビー玉の数を数えるには、100、10、1のまとまりがそれぞれ何こあるか調べるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・100や10のまとまりにして数えている考えを前に提示した状態でまとめを考えさせることで、100や10のまとまりにすることの大切さに気付けるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】
ビー玉の数え方を画像に書き込んでいる様子



【写真2】
数え方の工夫をことばで表しているシート



【写真3】
友だちの考えをスクリーンで見、どんな工夫があるかみんなで話し合っている様子

児童生徒の反応や変容

- ・ロイロノート上で操作することで、間違えたときにすぐかき直せるため、わかりやすく表現することができていた。
- ・回答を共有してスクリーンに映すことで、友だちの数え方はどんな工夫があるのか視覚的にとらえることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・提出箱を用いて各自の考えを共有することで、自分の考えと友だちの考えを比較でき、児童相互の言語活動が活発になった。
- ・課題解決はロイロノートで共有し、めあてやまとめなどをノートに記入することで、学習の記録がノートに残るようにした。